



【夏を前に今やるべきことは】 ～ 入試環境の変化をふまえ、一層の学力向上を ～

定期考査Ⅱも終わり、7月になりました。今月は初旬に模擬試験があり、その後、面談週間・保護者面談と、3年生はいよいよ進路決定の正念場を迎えます。7月1日から求人票が公開され、就職希望者は三者面談で応募する企業を絞り、夏休み中の校内選考会を経て9月16日から入社試験となります。

また、大学入試センター試験まで6ヶ月となりました。近年の私立大学の入学定員の厳格化を背景とした合格者数の抑制、学力上位層の流入による中堅私立大学の難化、安全志向と一人あたりの出願数増加による一般入試の激化に加え、今年度は現行の入試制度による最後の受験のため、「浪人は避けたい」という受験生心理も働き、厳しい入試となることが予想されます。第1志望校合格のためには、受験の天王山とも言われる夏休みをスムーズに迎え、追い込みをかけて秋以降の本格的な受験勉強につなげなければなりません。学力の向上を実感できるまでに3ヶ月はかかると言われています。今が弱点分野を克服できる現役最後のチャンスです。甘えを排して自分を追い込み、受験生への切り替えを確実にして夏休みを迎えることが出来るかどうか、勝負はすでに始まっています。

1・2年生の皆さんも、入試環境の変化を踏まえ、緊張感をもって授業や家庭学習に取り組んでください。4日(木)からは面談週間が始まります。担任の先生から提示される資料をもとに自己の現状を正しく認識し、成績や学習習慣などを見直し、自己の進路希望実現に向けて腰を据えて学習に取り組んでください。

【模擬試験を活用しよう】 ～学習成果の確認と振り返りを～

6月29日(土)に3年生、3日(水)に1・2年生対象の模試が行われました。その結果から、①学習内容がどのくらい身に付いているか？ ②弱点はどこか？ ③自分の学力は全国レベルではどうなのか？ ④目標校のボーダーラインはどのくらいか？ など、客観的な情報が得られます。校内の定期テストでは測れない真の実力がわかり、目標校の志望者数や学力分布、年度による難易度の変化など、浪人生を含めた全国の受験生の動向に関する情報も得られます。対策と復習をしっかりと行い、結果を今後の学習に十分に活かして、学力向上と進路目標の達成につなげてください。

「試験終了後には」・・・ 自己採点し、必ず復習をする

自己採点をして、間違えた問題を中心に「解答解説」で一つ一つ確認し、復習をしておきましょう。1週間くらいの時間をかけて徹底的に復習をし、次に同じ傾向の問題が出たら必ず正答できるように仕上げておくことです。また、数学など別解の研究が学力向上に有効な教科もあります。教科書以上に詳しい解答解説を100%使いこなしてください。なお、復習が効果的であることは、どの成績層の人についても言えます。問題冊子と解答解説は「合格ライン」とともにファイルし、入試直前期にも活用できるようにしておきましょう。

「成績表が返されたら」・・・ 弱点分析と成績（得点・偏差値）の推移を確認

偏差値や志望校の合否判定に一喜一憂し、他はあまり見ていない人が多いようです。まず、科目ごとの成績の推移を見てください。次に科目間のバランス、科目毎の分野別正答状況を確認します。全国平均と比べて判断しましょう。自分の学力の構造や問題点、課題がよくわかります。この部分をしっかりと分析し、寸評や採点講評も参考にして今後の学習の指針としてください。なお、ケアレスミスや計算ミスなど、どの部分で減点されているか（失点の原因）、自己採点と実際の点数の開きはどうか（自己採点の正確さ）など、自分の弱点やクセも読み取ってください。

【自主学習時間を確保しよう！】 ～学習時間を確保する3つのポイント～

①「生活の3点」を固定する

生活の3点とは、「起床」「夕食」「就寝」です。これらの時間を固定して、規則正しい生活をしましょう。

②まとまった学習時間をつくる

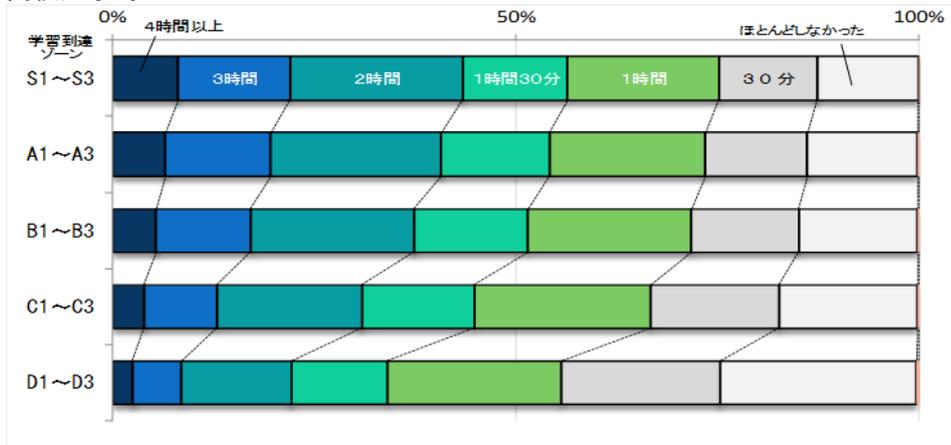
問題演習には時間がかかるものです。まとまった時間をつくり、じっくりと取り組んでみましょう。そうすることで、入試問題にも対応できる力をつけることができます。

③休日の時間を有効利用する

平日にできなかったことは、休日にカバーしましょう。計画の遅れも休日の時間を有効利用することで取り戻すことができます。

次のデータは、高校入学時と1年生夏休み前後の学習時間を成績層ごとに比較したものです。

高校入学時



GTZ(学力)別の平均回答率(2018年度スタディーサポート1年生第1回・第2回の全国集計結果)。※「GTZ(学力)」は、S1~D3までの15段階の大学群で表示した学力の到達度の指標。

夏休み前後には学習時間に大きな差がついていることがわかります。入学時は、S~C層の学習時間の差はあまり大きくありません。しかし、夏休み前後になると、2時間以上学習する人とほとんどしない人の差が成績層間で大きくなっています。

1年生夏休み前後



【求人票が公開されます】 ～企業が求める力は人間力と基礎学力～

・企業の人事担当者は学生に不足している力として主体性・コミュニケーション力、粘り強さ、一般常識などいわゆる「人間力」をあげています。「資格やスキル」よりも、主体性や粘り強さといった「人間力」を高校生活の中で身につけていく必要があります。前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力などを総称して「人間力」と呼んでいます。一朝一夕では身につけません、社会人として求められる大切な力ですから、日頃から意識しましょう。

・以前は、コミュニケーション能力や遅刻欠席の少なさ、3年間部活動をしていた、という生徒が求められる傾向にありました。しかし、最近の就職活動では学力も重視され、基礎学力テストを課す企業も増えています。授業を疎かにせず、家庭学習に励むように心がけましょう。公開された各社の求人票から、①仕事の内容 ②会社の安定性・将来性 ③労働条件・職場環境等についてしっかりと読み取り、保護者や担任の先生とも十分に相談し、総合的に判断して見学を申し込む企業を絞り込んでください。同時に選考方法を確認し、9月16日から始まる試験に向けて十分に準備をしてください。